

【隠岐の島町】

校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際、望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. ペーパーレス化の推進

学校と教育委員会間では、メールやクラウドツール、共有フォルダを活用し、ペーパーレス化を図っている。一方、家庭との連絡手段については、クラウド型の連絡ツールを導入しているものの、学校と保護間、教育委員会と保護者間では、依然として主に紙媒体を利用している場合が多数あり、配布のための仕分けや集計作業等で教職員の業務に負担が生じている。今後は、すでに導入している連絡ツールの活用促進を中心に、家庭との連絡のデジタル化について積極的に検討していく。

2. 汎用クラウドサービスの活用推進

町内全ての学校において、汎用クラウドサービスを活用し、校務のデジタル化を図っている。学校・教職員によってICT活用状況にばらつきがある。この組織・個人間の活用レベルのギャップを埋めるために、研修会の開催や教育委員会による活用方法の支援等を通して、校務DX化に向けたスキルの全体的な底上げに取り組んでいく。

3. 次世代型校務支援システム

島根県が主導する共同調達による次世代型校務支援システムの導入を検討している。

システム導入に向け、校務系ネットワークと学習系ネットワークの統合、ゼロトラストに係るセキュリティ対策、教員用端末の一元化、ロケーションフリーでの端末活用などの環境整備について、調査・研究をさらに進めていく。